

社会福祉法人誠心会令和4年度事業計画

1. 経営理念

社会福祉法人誠心会は、福祉事業を通じて「お互いが思いやり、助け合いながら生きていくことができる、ぬくもりのある地域社会の実現」に向けて、誠心誠意尽くします。

2. 基本方針

(1) 利用者第一のサービス（利用者）

利用者を第一に考え、安心して快適な生活が送ることができるサービスを提供します。

(2) 生き活きとした職場（職員）

明るく、生き活きと安心して働き続けられる職場環境を創ります。

(3) 健全経営の取り組み（経営）

経営の効率化、業務改善を図り強固な財政基盤を確立して持続可能な法人を目指します。

(4) 地域社会との協働（地域社会）

地域社会と連携・協働により、共に生きる地域社会の実現を図ります。

3. 誠心会が目指すビジョン

「葛巻における誠心会ならではの、かけがえのない 値打ち(満足)」

(1) 利用者を満足させる事業展開（顧客の満足）

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者福祉サービスの提供者として、利用者第一の考え方を基本に、利用者が満足するサービス提供を目指します。

(2) 活気ある組織づくり（職員の満足）

豊かな人間性と活気ある組織を育てます。人の絆を大切にしながら、お互いが助け合い、課題の改善や専門職としての意識を高めるための教育や研修に取組、いつまでもやりがいや働きがいを持てるような組織を目指します。

(3) 健全な財政基盤の確立（経営の満足）

措置から利用者契約制度への移行と民間参入の時代を迎え、今後共に生き残るためには、健全な財政基盤を築きながら継続した社会貢献事業ができるよう目指します。

(4) 地域支援、地域密着サービスの提供（地域社会の満足）

全ての人々が安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、「地域との協働」の姿勢を維持し、多くの地域住民と手を取り合いながら様々な事業を展開し、地域社会で信頼され、選ばれた法人を目指します。また、温かい心を大切に、懇切丁寧に、お互いが支え合って生きていくことができる地域福祉の実現を目指します。

4. 令和4年度の重点目標

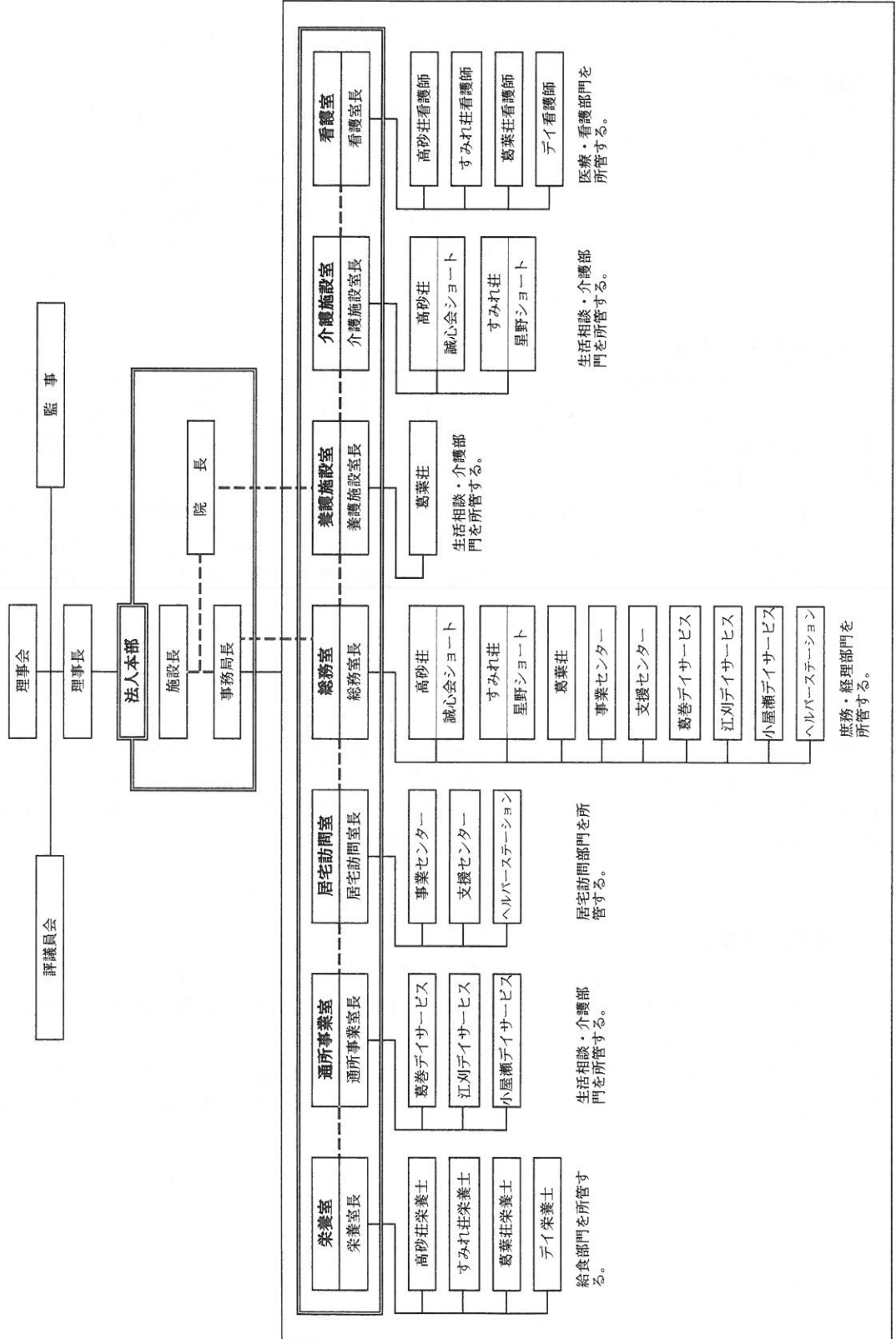
- (1) 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制（ハード面・ソフト面共に）の構築に努めます。具体的には、不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、また中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画（業務継続計画）を策定します。
- (2) 利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳が守られるよう、職員への倫理教育の更なる充実を図ってまいります。
- (3) 働き方改革関連法の施行に伴い、多様な働き方ができる新たな雇用形態の構築により、働きやすく、やりがいの感じられる職場づくりに努めます。
- (4) 職員が自らの将来像を描け、自己実現、キャリアアップできるような仕組み作りに努めます。具体的には、キャリアパス（昇任・昇格基準、求められる技術基準）を構築します。
- (5) 経営リスクに耐えうる組織づくりに努めます。具体的には、誠心会の基本理念等を経営者の意思として職員それぞれに理解・徹底を図り、組織の使命、目的、機能をブレークダウンしていくことを通し、多様な経営リスクを積極的な組織行動により解決し、経営の安定を図ってまいります。
- (6) コンプライアンス（法令遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立に努め、健全な財務規律の確立を図ります。
- (8) 地域の身近なパートナーとして、地域住民が暮らしやすい社会への一躍を担うため、法人が有する資源・機能を活用し地域公益活動を積極的に展開します。具体的には、高齢者や障害者等の積極的な雇用を通じ、多様な人材が活躍できる地域共生社会の基盤づくりに努めます。

5. 誠心会本部事業計画

月	内 容				摘要
	理事会	評議員会	監事監査	事務処理体制支援	
4					
5			決算	決算	
6	第6回（決算）	定時（決算）			
7					誠心会夏祭り
8			第1四半期分	第1四半期分	葛葉荘盆踊り
9					敬老会
10	第7回				
11			第2四半期分	第2四半期分	
12					
1					
2			第3四半期分	第3四半期分	
3	第8回（予算）				

6. 誠心会組織図

誠心会運営組織図



7. 各室の事業計画

(1) 総務室

〈総務室目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な活力ある経営を目指すため、財務状況の把握・分析や保有資産の有効活用など、コスト意識を持った財務・資産の適正管理に努めます。 		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
1 経営基盤の確立 継続経営を行うため、効率的効果的な経営の基盤整備に努めます。	① 適正な財務諸表を作成し、事業活動の結果を正確に把握し健全経営に努めます。 ② 財務諸表のデータを活用し経営指標を分析することにより、具体的な問題点や課題を抽出し改善策を検討したうえで、計画的に改善活動を行います。	強 化 新 規
2 人材の確保・育成 社会福祉法人は地域福祉の重要な担い手であり、介護の仕事の社会的価値と魅力を積極的に発信し、介護の専門性や人間力の向上に積極的に取り組むことにより、人材の確保と育成に努めます。	① 良質な人材確保のために、誠心会ホームページが今より目につきやすく、広く閲覧してもらえる内容の掲載ができるよう、既存のホームページの見直しを行います。 ② 企業ガイドブックへ法人情報の掲載やウェブサイトの活用により広く情報発信を行うと共に近隣の高校・専門学校等を訪問し積極的に求人活動を行います。	継 続 強 化
3 人材の定着 職員が安心して働き続けられるよう、公正な人事・給与や働きやすい職場づくりに努め人材の定着を図ります。	① 業務内容に応じた多様な雇用形態について検討し、仕事だけでなくプライベートな生活も充実させられる働き方を実現することにより、労働者の定着率の向上に努めます。	新 規
4 危機管理対策の強化 自然災害や感染症の流行など予期せぬ事態が発生した場合でも必要な介護サービスを継続的に提供できる体制の構築に努めます。	① 今ある備えが災害の種類に対応できているのかを検証し、生命の安全確保と物理的被害の軽減に努め経営資源を守ります。 ② 自然災害や感染症の流行によって介護サービスが中断しないよう、業務継続計画の策定に努めます。	新 規 新 規

(2) 介護施設室

〈事業目標〉		
<p>・利用者一人一人に寄り添い、一日一日を大切に生活が送れるよう真心のこもったサービスの提供に努めます。また、家族や地域との交流を図りながら、関係機関との連携を強め信頼関係の構築に努めます。</p> <p>・専門職としての役割を常に自覚し、知識と技術の向上を目指します。</p>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区分
(生活相談)		
【高砂荘】		
1 利用者の思いに寄り添い、その人らしい生活が送れるよう個別支援に努めます。	<p>① 季節を感じてもらえるような行事計画を立て、楽しみのある生活の場の提供を行います。(年間計画の工夫)</p> <p>② 眠りスキャン・センサーを活用し、眠りのパターンを確認し、その方にあった支援の提供を行います。</p>	強化 新規
2 家族とのコミュニケーションを図ると共に、地域とも連携し貢献活動に努めます。	<p>① 利用者アンケートを実施し、利用者・家族の意見を活かした業務改善を行います。(4月確認、11月にアンケート調査)</p> <p>② 中間的就労支援、安心サポート相談員の地域貢献活動を行います。(随時)</p>	継続 継続
3 職員個々が自己研鑽に勤め、介護の質の向上に努めます。	<p>① 内部研修会を開催します。(定時開催:リスクマネジメント委員会、身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会、プライバシーに関する事 各2回)</p> <p>② 各部会で研修会を開催します。(課題や希望する内容の確認)</p>	強化 継続
【すみれ荘】		
1 利用者、家族との信頼関係を深め、利用者が安心して意欲的に生活を送れるようサービスの向上に努めます。	<p>① 家族とのコミュニケーション(連絡・相談・相談)を密にし信頼関係を築きます。</p> <p>② 職員間、職種間での情報交換の徹底を図ります。</p>	強化 継続
2 運営推進会議を開催し、家族と地域との信頼関係の構築に努めます。	<p>① 会議を定期的で開催します。(年6回定期開催)</p> <p>② 家族、地域、関係機関との情報交換の場として活用し、地域社会との連携を深めていきます。</p>	継続 継続
(介護計画)		
【高砂荘・すみれ荘共通】		
1 利用者とのコミュニケーションを図りながら、何気ない仕草や行動のなかからニーズを引き出し、ニーズに沿ったサービス計画を立案し、その人らしい生活を送れるように努めます。	<p>① 利用者から意向確認(6ヶ月に1回)を行い、町内に住まわれているご家族には、来荘時や訪問時に状態報告を行います。町外に住まわれなかなから来荘できないご風合瀬区には、こちらから積極的に連絡し利用者の生活状況の報告やご家族から意向や要望の確認を行っていきます。</p> <p>② 利用者や家族から得られたサービスに関する情報を多職種間で共有し、統一したサービスが提供できるように努めます。</p>	継続 強化

<p>(介護一般)</p>	<p>③ 外部・内部研修、講習会に積極的に参加し、質の向上に努めます。</p> <p>④ 本人、ご家族より看取りの意向を頂いた時には、医療機関との連携を図りながら、自分らしく穏やかな最後が迎えられるよう支援してまいります。</p>	<p>継 続</p> <p>新 規</p>
<p>【高砂荘】</p> <p>1 利用者の心身の状態や本人の意向を尊重しながら、清潔・安全・快適な生活が送れるように努めます。</p>	<p>① 認知症予防に向けたコミュニケーションの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 回想法を用いた誕生者の紹介、季節感を感じとる会話（随時） ○ 健康体操の実施（毎日） ○ お茶会&ゲーム大会の実施（年5回） <p>② 自己選択できるサービスの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインでの買い物支援の導入（年3回） <p>③ センサー使用による利用者の体調変化の早期発見と検証を行います。</p>	<p>強 化</p> <p>新 規</p> <p>継 続</p>
<p>2 職員間の考え、気づきを共有することで支援の統一を図り、リスクの回避に努めます。</p>	<p>① 高砂荘会議での意見交換を行います。（月1回）</p> <p>② 各部会での研修・研究を実施しながら、不明な点の明確化や確認を行います。</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>
<p>【すみれ荘】</p> <p>1 利用者の意欲向上に努めると共に、安全に暮らせることを重点に置き、利用者が安心して生活できる施設作りを目指します</p>	<p>① 利用者の意向に沿った外出支援を行います。（5月～10月）</p> <p>② 利用者個々の支援内容を確認・検討し、統一した支援の実施に努めます。（月1回）</p> <p>③ 介護技術の向上のための研修会を開催します。（3月に1回）</p>	<p>新 規</p> <p>新 規</p> <p>継 続</p>

(3) 養護施設室

＜養護施設室目標＞		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉施設の専門職として、常に誠意をもって丁寧な接遇に努め、信頼関係を深めます。 ・ 職員の意識改革と質の向上に努めます。 ・ 入所者の尊厳と自立を支える支援の確立に努めます。 		
今期の重点目標	実現のための具体的方法	区 分
(生活相談)		
1 入所者の満足いただけるサービスの提供に努めます。	① 施設生活の満足度アンケートを実施します。(6月、12月)	強 化
2 多職種との連携を密にとり、入所者の個々の希望に添った支援計画を立て実践します。	① 支援計画の策定及び見直しを行います(隔月2ユニット毎) ② 定期相談の実施と評価します。(毎月1ユニット)	新 規 継 続
3 入所者へのサービス向上のため、専門職として資質向上に努めます。	① 社会福祉事業に対する熱意と能力のある職員を育成するために、内部・外部研修会の情報伝達を行います。(随時)	継 続
4 障がい程度が重度の入所者への支援の充実に努めます。	① 要介護認定3以上の入所者へ手厚い介護を提供するために、施設機能の充実に図ってまいります。	新 規
(支援一般)		
1 入所者が健康で自立した生活ができるよう支援します。	① 下肢筋力体操を実施します。(週1回) ② 可動域を維持するため歩行運動の実施、評価、検証を行います。(毎月) ③ 個々にあった趣味活動を実施します。	継 続 強 化 新 規
2 入所者の日常生活の楽しみを見出し、生活意欲を高めていくよう支援します。	① 季節感のある行事・クラブ活動の考案し実施します。(毎月) ② 外出支援の評価・検証を行います。(隔月)	強 化 継 続
3 入所者に寄り添い、安心と満足が得られる対応に努めます。	① 傾聴・言葉かけを行い入所者一人一人の気持ちに寄り添った支援の提供に努めます。 ② ユニット対応の確立に努め、より個別性の高い支援の提供に努めます。	継 続 強 化
4 「新たな生活様式」においても、入所者にストレスを与えない支援に努めます。	① 入所者の生活の場として、ストレスを感じさせない支援を提供するために、職員同士の日常的な情報交換不足を克服し、チームケアとカンファレンスの徹底に努めます。	新 規

(4) 通所事業室

〈室の目標〉		
<p>高齢や疾病による身体機能の低下や認知症を抱えて在宅で生活する利用者が、残存能力を活かして自立した生活が継続できるよう、関係機関や他職種との連携により状態の低下防止や家族介護負担の軽減を図るとともに、本人・家族の意向を反映した意欲的な生活ができる通所介護サービスの提供を目指します。</p>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(生活相談)		
<p>【共通】 利用者が残存能力を活かす個別援助計画作成のため、本人・家族の意向を反映し、他職種との連携を図ります。</p>	<p>① サービス担当者会議の参加により、利用者・家族の情報や意向を共有し、ケアプランに沿った他職種連携の個別援助計画の作成と見直しを行います。 ② 利用者アンケート実施・評価・分析を行います。</p>	<p>強 化 継 続</p>
<p>【葛巻デイ】 関係機関と連携し利用者ニーズに対応し、地域で暮らす利用者に必要とされる通所事業所を目指します。また、職員の資質向上に努めます。</p>	<p>① ケアマネ連絡会に参加し居宅支援事業所や関係機関との情報共有を図ります。 ② 利用者の要望に対応する個別援助計画を策定します。 ③ 外部研修や内部研修を計画し実施します。</p>	<p>継 続 強 化 継 続</p>
<p>【江刈・小屋瀬デイ】 利用者のニーズに対応できるよう、関係機関及び事業所間の連携を密に行い、自立支援に努めます。</p>	<p>① 利用者の要望に対応する個別支援計画を策定します。 ② 外部研修や内部研修を計画し実施します。</p>	<p>強 化 継 続</p>
(介護)		
<p>【共通】 利用者の残存能力を生かすため、支援計画に沿った支援を行い、安全で安心を与える介護の提供に努めます。</p>	<p>① 個別援助計画に沿ったサービスの提供・評価を行います。 ② 認知症介護基礎研修の受講に取り組みます。 ③ 介護技術研修会を開催します。(合同研修会)</p>	<p>強 化 新 規 継 続</p>
<p>【葛巻デイ】 利用者の状態に応じた援助を行い、意欲的な生活ができるよう支援します。また、個別機能訓練を行い心身機能の維持向上に努めます。</p>	<p>① 状態に適した援助と見守りの強化を図ります。 ② 個別機能訓練を強化します。</p>	<p>継 続 強 化</p>
<p>【江刈・小屋瀬デイ】 利用者の状態に応じた援助と機能訓練の要素を取り入れた趣味活動を行い、意欲的な生活ができるよう支援します。</p>	<p>① 状態に適した援助と見守りの強化を図ります。 ② 機能訓練の要素を取り入れた趣味活動を実施します。</p>	<p>継 続 強 化</p>

(5)看護室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心・安全に過ごせるよう意向を尊重し、施設生活が継続できるよう看護提供に努めます。 ・利用者の重度化や認知症により多様化するニーズや医療的援助等を各職、関係機関と連携を密にし身体機能維持や向上に努めます。 		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(看護)		
【高砂荘】 認知症の進行や重度化する利用者が安定した施設生活を継続できるように医療機関や各職と連携し多様化する医療的援助の実施に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の状態を把握確認し、他職種との情報共有に努めます。(随時) ② 内部研修会を実施します。(6月、10月、随時) ③ 新職員研修会を実施します。(随時) ④ 特定行為業務の実施・指導を行います。(随時) ⑤ 酸素飽和濃度測定を行います。(5月、10月、随時) ⑥ アルブミン結果の評価を行います。(定期検診時) ⑦ 褥瘡対策として、アセスメント、評価、計画策定を行います。また、L I F Eの運用を行います。(4月、7月、10月、1月。随時) ⑧ 感染症の発生時の対応を強化します。 <ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策委員会の開催 ○感染症マニュアルの見直し ○感染症研修の実施、シミュレーション訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 継 続 継 続 強 化 継 続 継 続 継 続 継 続 強 化
【すみれ荘】 多様な疾患を持つ利用者が、快適で安心・安全な生活の継続ができるよう、医療機関や他職種と連携し医療的援助に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の状態を把握確認し、他職種との情報の共有を図ります。(随時) ② 新人研修を開催します。(随時) ③ 内部研修会を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の疾患及び状態(入所時、随時) ○急変時対応(5月) ○特定行為業務(5月) ○感染症防止対策(6月、10月) ④ 外部研修会へ参加し、他職種への情報提供を行います。 ⑤ 褥瘡対策として、アセスメント、評価、計画策定を行います。また、L I F Eの運用を行います。(4月、7月、10月、1月。随時) ⑥ 感染症の発生時の対応を強化します。 <ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策委員会の開催 ○感染症マニュアルの見直し ○感染症研修の実施、シミュレーション訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 継 続 強 化 継 続 継 続 継 続 継 続 強 化

<p>【葛葉荘】</p> <p>高齢化による免疫力の低下がすすんでいることから、他職種と連携し身体状況の把握に努め、施設での自立した生活が継続できるよう支援します。</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握及び検証を行います。(6月、2月)</p> <p>② 感染予防等に関する内部研修会を開催します。(6月、10月)</p> <p>③ 疾患に対する状態を確認し、他職種と情報共有することで、早期に医療機関に受診できるよう努めます。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>新規</p>
<p>【各デイ共通】</p> <p>利用者の健康状態の把握に努め、他職種と連携し感染症の予防や健康状態の維持に努めます。</p> <p>(機能訓練)</p>	<p>① 利用者の健康状態を把握し、検証を行います。(6月・2月)</p> <p>② 感染症予防等に関する内部研修会を実施します。(6月・10月)</p>	<p>継続</p> <p>継続</p>
<p>【高砂荘】</p> <p>精神的安定と身体機能維持を図ると共に、生きがいのある生活が出来るように他職種連携し機能訓練に努めます。</p>	<p>① 身体機能を把握します。(4月、10月)</p> <p>② 個別生活リハビリ計画の作成、評価を行います。(5月、11月)</p> <p>③ リハビリ体操やレクリハ、生きがい活動を実施します。</p> <p>④ 口腔体操を実施します。(毎日)</p> <p>⑤ リハビリ体操やレクリハ、生きがい活動の意向調査を行います。(12月)</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
<p>【すみれ荘共通】</p> <p>精神的安定と身体機能維持を図ると共に、生きがいのある生活が出来るように他職種連携し機能訓練に努めます。</p>	<p>① 身体機能を把握します。(入所時、随時)</p> <p>② 口腔体操を実施します。(毎日)</p> <p>③ リハビリ体操やレクリハを実施します。(毎日)</p> <p>④ 残存機能に応じた生きがい活動を実施します。(週1回)</p> <p>⑤ リハビリ体操やレクリハ、生きがい活動の意向調査を行います。(12月)</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
<p>【葛葉荘】</p> <p>身体機能・認知機能の維持及び低下防止のため、機能訓練に努めます。</p>	<p>① 入所者の生活の場での「できるADL」(訓練・評価時に一時的に発揮される能力)と、「しているADL」(実生活での実施状況)を評価・分析し、他職種と連携し筋力・脳のトレーニング等を行い、ADL向上に努めます。</p> <p>② 機能訓練等に関する専門研修に参加します。(通年)</p>	<p>新規</p> <p>継続</p>
<p>【各デイ共通】</p> <p>利用者個々の状態に合った機能訓練や認知機能の低下予防のリハビリの実施に努めます。</p>	<p>① 他職種協働によるリハビリ(レクリエーション)の企画し、実施します。</p> <p>② 身体能力調査の実施・評価を行います。(年1回)</p> <p>③ 口腔体操を実施します。</p>	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>

(6) 栄養室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の栄養状態の把握に努めながら健康に施設生活を継続できるように支援します。 ・専門職として常に質の高い料理技術と栄養管理の実践により、安全・安心でおいしい食事の提供に努めます。 		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
<p>【高砂荘】【すみれ荘】</p> <p>1 利用者の体重管理とともにBMIの数値が目標範囲に留まる割合が増えるよう食事改善に努めます。</p> <p>2 利用者とふれあいの機会を多く設け、利用者の意向を反映したサービス計画の作成に努めます。</p> <p>3 食事提供に関する安全指針に基づき、安全・安心でおいしい食事の提供に努めます。</p>	<p>① BMI数値の確認と評価を行います。(健診後、随時)</p> <p>② 栄養計画の一覧表を作成し、栄養計画・栄養ケア会議の内容の充実を図ります。</p> <p>① 各行事に参加し、職種間での情報交換の徹底を図ります。</p> <p>① 委託業者との連携を密にし、食事形態の確認、摂取状態の把握等、食事提供におけるリスク回避に努めます。</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p> <p>継 続</p> <p>強 化</p>
<p>【葛葉荘】</p> <p>1 給食提供方法と献立内容を精査し、安定した食事摂取ができるように努めます。</p> <p>2 嗜好調査の意見を取り入れ、入所者の満足度に答えられるように努めます。</p> <p>3 他職種との連携を密にし、利用者の状態把握に努め、健康が維持できるよう支援を行います。</p>	<p>① 個別食事提供表を作成します。(毎月)</p> <p>② 残食が多い食材の献立や提供方法について検討し、残食を減らすようにします。(毎月)</p> <p>① 入所者の希望や意見を随時聴取し、献立に反映していきます。</p> <p>② 行事給食のメニュー内容や毎月のおやつの内容に、入所者の意見を反映していきます。</p> <p>① 食事摂取状況の把握と栄養状態の確認を行います。</p> <p>② 嚥下状態の確認、評価及び適正食事形態の検討を行います。(毎月1ユニット)</p>	<p>継 続</p> <p>強 化</p> <p>継 続</p> <p>強 化</p> <p>強 化</p> <p>強 化</p>
<p>【葛巻デイ】</p> <p>利用者の摂取状況を把握し、利用者の健康維持・改善に努めます。</p>	<p>① 嗜好調査を実施します。(9月)</p> <p>② 栄養教室、手作りおやつを実施します。(7月、1月)</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>
<p>【江刈デイ・小屋瀬デイ】</p> <p>外部提供業者と連携し、食に喜びを感じられる食事提供に努めます。</p>	<p>① 嗜好調査を実施します。(9月)</p> <p>② 栄養教室、手作りおやつを実施します。(6月、12月)</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>

(7) 居宅訪問室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護との連携を図り、質の高いケアマネジメントの推進、相談支援、利用者の自己選択を尊重して、できることに目を向けたサービス提供やインフォーマルサービスを取り入れ在宅生活の支援に努めます。 ・地域包括ケアシステムの構築・貢献できるよう、地域の関係機関との連携強化に努めます。 		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
【事業センター】		
1 医療機関との連携を図り、サービス事業所と協力して利用者・家族に寄り添った支援に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 入院時の迅速な情報提供と退院時のアセスメント強化により、退院支援及び在宅生活への移行を円滑に進められるよう関係機関等との連携を図ります。 ② 感染予防のため迅速な情報の収集・共有により適切な対応支援を行います。 ③ 事業所内の事例検討会を定期的で開催するとともに、他事業所合同の事例検討会を行い、介護支援専門員の資質の向上と専門性を高めます。 (事業所内検討会 年6回、合同検討会 年2回) 	強 化
2 地域の見守りネットワークを構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害時において、リスクの高い利用者に配慮した防災カードの作成と危険箇所の把握を行い、緊急時支援が円滑に行えるよう体制づくりに努めます。 ② 包括支援センターとの連携、ケアマネ連絡会等での情報を共有し、地域ニーズを把握した支援に努めます。 	強 化 継 続
【支援センター】		
1 地域包括ケアシステムの基本的な共通認識を持ち、支援活動に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 住民が地域の見守り、支援を受けながら安心して生活できるよう、生活課題を捉え包括支援センターへつないでいきます。 ② 地域課題に対する情報提供を行います。 	継 続 継 続
2 介護予防事業を通じて地域の皆さんに交流の機会、運動機能維持のための場を提供し、健康長寿を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭訪問調査時等に介護予防の必要性について啓蒙を行い、集いの場で体力維持・向上を促し身体機能の維持につなげます。 	継 続
【ヘルパーステーション】 (サービス提供責任者)		
1 利用者の状態把握と情報共有に努め、居宅支援事業者と協力して適切なサービス提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者の話しやすい環境づくりを心掛け、ニーズの把握に努めます。 ② 居宅支援事業者及び関係機関との情報共有に努め、住み慣れた自宅での生活が継続出来るよう、ニーズに応じたサービスを提供します。 	継 続 強 化

<p>2 業務内容の検証を行い、職員の資質の向上を図ります。</p> <p>(訪問介護員)</p> <p>1 介護技術、知識の向上を図り、介護計画に沿ったサービスを提供し、利用者の自立を支援します。</p>	<p>① 介護技術研修を開催します。(年3回)</p> <p>② 業務マニュアルを見直し、自立支援に効果的なサービス提供を目指します。</p> <p>① 介護技術、知識の向上に努め、利用者の状態を把握し訪問介護計画に沿ったサービス提供を行います。</p> <p>② 計画に沿ったサービスを提供するとともに、変化に対応できるよう素早い情報伝達に努めます。</p>	<p>継 続 継 続</p> <p>継 続 継 続</p>
---	--	---------------------------------------

